

(様式5)

審査結果通知書

令和3年4月30日

申請者

所属 救急診療部  
職名 主任部長  
氏名 林 敏雅 殿

社会医療法人愛仁会 千船病院  
院長

志丹 隆 彦

受付番号 20210426A

研究課題名 COVID-19 感染患者治療の疫学的調査

研究責任者名 林 敏雅

上記に係わる研究計画等につき、倫理委員会の審査結果を下記の通り通知します。

1. 判定	<input checked="" type="radio"/> 承認	<input type="radio"/> 条件付き承認	<input type="radio"/> 不承認	<input type="radio"/> 変更勧告	<input type="radio"/> 非該当
2. 迅速審査の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無			
3. 理由	本、臨床研究の妥当性を認めた為。				
4. 少数意見	特記なし。				

**研究課題名：**

**COVID-19 感染患者治療の疫学的調査 第 1 版**

**研究責任者：**

救急診療部 主任部長 林 敏雅

第 1.0 版 2021 年 4 月 13 日 作成

<input type="checkbox"/> 当該診療科長または所属の長の承諾を得ている（所属長氏名； _____）
<p>該当する指針を確認してください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>人を対象とする医学系研究に関する倫理指針</p> <p><input type="checkbox"/>ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針</p> <p><input type="checkbox"/>その他適用範囲外である（理由： _____）</p>
<p>付加義務を確認してください（以下から選択）</p> <p><input type="checkbox"/>介入研究（医薬品・医療機器の未承認・適用外の研究または盲検化や割付などのデザインである）で侵襲（軽微な侵襲は除く）を伴う研究</p> <p><input type="checkbox"/>介入研究で軽微な侵襲を伴う研究である</p> <p><input type="checkbox"/>介入研究で侵襲または軽微な侵襲を伴わない</p> <p><input type="checkbox"/>観察研究で侵襲または軽微な侵襲を伴う研究</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>観察研究で侵襲を伴わない研究（付加義務はなし）</p>
<p><b>② 研究の実施体制（以下から選択）</b></p> <p><input type="checkbox"/>単施設研究</p> <p>研究代表者の所属・氏名・役割； _____</p> <p>分担研究者の所属・氏名・役割； _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多施設共同研究（以下を必ず記載）</p> <p>全ての共同研究機関の名称及び研究者等の氏名；</p> <p>共同研究機関：</p> <p>広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗</p> <p>日本救急医学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会・日本感染症学会・日本化学療法学会・日本呼吸器学会に所属する全国の機関に依頼されているため共同研研究機関が増える予定であり、2021年4月14日の当院申請時点で既に94施設が登録されている。（別紙参照：<a href="https://www.ecmonet.jp/irb/">https://www.ecmonet.jp/irb/</a>）</p> <p>各共同研究機関における研究責任者の役割；</p> <p>（総括）広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗</p> <p>（情報の収集・分譲）上記の各医療機関</p>
<p><b>③ 研究の目的及び意義（本研究に着手する背景も含む）</b></p> <p><b>【背景】</b> 2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が報告された。このウイルスは新型コロナウイルスとして、COVID-19と称されている。COVID-19による感染は世界的に流行し、WHOでは2020年1月30日に緊急事態宣言を行い、3月11日にはパンデミックの宣言を行った。本邦では1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定された。この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイル</p>

ス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後の COVID-19 感染症治療の確立には急務である。

**【目的】** 本研究は、本邦における COVID-19 感染症における臨床データ・治療内容を後方視的に解析し、病態解明・治療法開発の一助とすることを目的として、国内外に学会発表、論文投稿を行う。また、広島大学 主導の多施設共同研究に参加して全国の多施設でのデータを収集して行い、本邦独自のデータとして国内外に学会発表、論文投稿の協力を行う。

**【意義】** 2020 年 2 月に JAMA に掲載された論文によると、中国での COVID-19 感染患者 44672 人の致死率は約 2.3%で、高齢であることや、高血圧・糖尿病、心血管疾患、慢性呼吸器疾患、担癌患者などで死亡率が増加することが報告された。日本国内では、2020 年 3 月 18 日までに、感染が確認された症状のある人 758 例のうち、入院治療中の人 579 例おり、そのうち、軽症から中等度の人が 337 名 (58.2%)、人工呼吸器を使用または集中治療を受けている人が 46 名 (7.9%) となっている。感染者数は現在も増加し続けており、今後いつ患者数のオーバーシュート(爆発的増加)が認められてもおかしくない状態であり、COVID-19 に関する情報は日々更新していく必要がある。COVID-19 感染患者の疫学的検討や治療方法、治療成績に関する症例報告は多数報告されているが、大規模な疫学的検討は少ない。また、新規ウイルスによる感染症であるため、その情報は未知な部分が多く、今後の研究結果の集積が必要である。

#### ④ 研究方法と期間

研究期間：承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日

登録期間：～ 2026 年 3 月 31 日

追跡・観察期間：～ 2026 年 3 月 31 日

#### 研究デザイン (以下から選択)

介入研究

観察研究

多施設、後方視的観察研究

研究に用いるデータは、COVID-19 感染患者の年齢・性別・基礎疾患などの背景、COVID-19 治療に関するデータ等である。広島大学に提供をする診療録のデータは、個人が特定される情報は削除し、匿名化された状態でメールなどインターネットを通じてデータとして提供される。

その他

#### (具体的な) 研究方法

広島大学で全国の多施設から提供を受けた診療録からの情報を用いて、専ら集計や、簡単な統計処理を行う研究である。研究に用いるデータは、COVID-19 感染患者の年齢・性別・基礎疾患などの背景、COVID-19 治療に関するデータ等である。当院から提供する診療録のデータは、個人が特定される情報は削除し、匿名化された状態でインターネットを通じてデータとして提供する。

#### ⑤ 研究対象者の選定方針

**【研究対象者の概要】**

年齢は問わず、性別男女問わず、研究実施期間を含め、2020年1月1日から2026年12月31日の6年間に当院で検出されたCOVID-19による感染患者を対象とする。

**【適格基準】**

疾患名：COVID-19

病期、ステージ：指定なし

性別：指定なし

年齢：指定なし

**【除外基準】**

特になし

予定症例数と設定根拠； 当院 20例，全体 1000例

**観察・検査項目**

**1.1. 患者背景情報**

- 年齢、性別、身長、体重、Body mass index (BMI)、病名
- 現病歴、既往歴、併存症、内服歴、入院契機診断名、手術（待機、緊急）
- 症状、推定潜伏期間
- 重症度 (PIMII score, McCabe score, APACHE II score, SOFA score)
- 入院場所 (一般病棟、感染症室、高度救命救急センター、ICU)
- 渡航歴、COVID-19患者への濃厚接触歴、感染源 (リンク)
- 敗血症・敗血症性ショックの有無、ARDSの有無
- 治療中の合併症

**1.2. 画像診断**

- 胸部単純X線写真、CT検査

**1.3. バイタルサイン**

- 血圧、脈拍、体温、呼吸数、意識レベル

**1.4. 治療・管理内容**

- 抗菌薬、抗ウイルス薬
- 治療に使用した薬剤、カテコラミン、ステロイド、ガンマグロブリン
- 治療に使用したデバイス：気管挿管、CVカテーテル、尿道カテーテル、Aライン
- 尿量 (mL、mL/hr、mL/kg/hr)
- 気管切開 (有無、時期)
- 人工呼吸器使用の有無、使用している場合は人工呼吸データ、期間
- NIV、HFNCの使用の有無
- 透析の使用有無、期間
- 体外式膜型人工肺の使用有無、期間、合併症

### 1.5. 検査

- 動脈血ガス分析：pH、PaO<sub>2</sub>、PaCO<sub>2</sub>、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>、BE、Lac
  - 一般血液検査：白血球数(白血球分画)、ヘモグロビン (Hb) , 血小板数 (Plt)
  - 血液生化学検査：C-反応性蛋白 (CRP) , AST, ALT, LDH, CK, BUN, Cr, Na, K, Cl, PT, APTT, Fib, D-dimer, FDP, TAT, PCT, 総ビリルビン(T.Bil), 総蛋白 (TP) , アルブミン (Alb) , βD グルカン, KL-6、HbA1c、Glu
  - ウイルス検査(COVID-19 PCR, インフルエンザ迅速抗原, PCR)・検体採取部位
  - 血液培養検査、各種細菌学的検査
  - 超音波検査結果
- ・他機関に情報を提供するために取得した情報を当院にて匿名化し送る。

#### 評価項目

主要評価項目:生死・最終生存確認日

副次評価項目:治療期間、人工呼吸器日数、ECMO 使用日数、在 ICU 日数、在重症病棟日数、在院日数

#### 解析の概要

広島大学でコンピュータを用いて、データを匿名化された状態で入力し、統計ソフトを用いて解析を行う。

#### ⑥ 研究の科学的合理性の根拠

2020年2月にJAMAに掲載された論文によると、中国でのCOVID-19感染患者44672人の致死率は約2.3%で、高齢であることや、高血圧・糖尿病、心血管疾患、慢性呼吸器疾患、担癌患者などで死亡率が増加することが報告された。

日本国内では、2020年3月18日までに、感染が確認された症状のある人758例のうち、入院治療中の人は579例おり、そのうち、軽症から中等度の人が337名(58.2%)、人工呼吸器を使用または集中治療を受けている人が46名(7.9%)となっている。

感染者数は現在も増加し続けており、今後いつ患者数のオーバーシュート(爆発的増加)が認められてもおかしくない状態であり、COVID-19に関する情報は日々更新していく必要がある。

現在、COVID-19感染患者の疫学的検討や治療方法、治療成績に関する症例報告は多数報告されているが、大規模な疫学的検討は少ない。また、新規ウイルスによる感染症であるため、その情報は未知な部分が多く、今後の研究結果の集積が必要である。

#### ⑦ インフォームド・コンセントを受ける手続等

付加義務を確認してください(以下から選択)

侵襲を伴う研究

介入研究で侵襲を伴わない研究である

観察研究で侵襲を伴わないが人の試料を用いる研究

観察研究で人の試料を用いない研究

■ 個人情報・要配慮個人情報を含む(既往歴などの要配慮個人情報に該当する情報の入力はおこなうが、個人が特定される情報の入力はおこなわない)

上記以外の情報を用いる

上記の結果、以下いずれかの方法を選択し、当該箇所に IC 手続きの詳細を記載の上、必ず添付資料をあわせて申請時に提出してください

文書による説明・同意

口頭説明・記録作成

代諾 IC を行う

代諾者等の選定方針；

代諾者への説明事項；

当該者を研究対象者とすることが必要な理由；

アセントを行う

オプトアウト

下記の同意の取得が困難な理由にチェックしてください

過去に取得した試料情報で特定の個人を識別できない形で匿名化されているため

取得から相当の時間が経過している等により本人の連絡先が不明

既存試料・情報であって、研究対象者が極めて多いため（コホート研究等）

その他（ ）

上記以外

上記の同意取得手続きについて、以下に必ず詳細に記載のこと

個人を識別できない形で匿名化しての情報提供としており、後方視的な研究であることから利益・不利益・リスクの影響は考えられないため必ずしも IC は必要としない。

### ⑧ 個人情報の取扱い

#### 取扱う個人情報（以下から選択）

単体で特定の個人を識別できる個人情報を用いる

DNA 塩基配列・デジタル化した生体データなどの個人識別符号を用いる

病歴・健診結果などの要配慮個人情報を用いる

匿名加工情報・非識別加工情報を作成する（作成方法を別紙添付）

その他（ ）

#### 匿名化の方法（以下から選択）

匿名化が必要な情報は扱わない

対応表を作成せず、個人を特定できない匿名化を行う \*（旧）連結不可能匿名化

具体的な匿名化の手続きを必ず記載；ICU 入室日・気管挿管日の記載などは入力するが、個人が特定される情報の入力はおこなわない。

対応表を作成し、個人を直には識別できないように匿名化を行う \*（旧）連結可能匿名化

具体的な匿名化の手続きを必ず記載；

具体的な対応表の管理の方法を必ず記載；

匿名化を実施しない場合（以下、必ず記載）

匿名化しない理由；

**個人情報の安全管理措置について（以下から選択）**

個人情報は取扱わない

個人情報を取り扱う（以下、必ず記載）

個人情報の安全管理の方法；<https://ecmo.fmi.filemaker-cloud.com/fmi/webd> へのデータ入力。広島大学で解析される。診療録から得られたデータから、氏名、患者番号、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除してデータ入力する。個人情報とは無関係の番号を付け、匿名化を行う。個人識別情報 と付加番号の対応表は個人情報管理者が厳重に管理し、解析担当者には渡さない。データ解析の際には、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まない。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しない。

**⑨ 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、これらの総合的評価並びに当該負担及びリスクを最小化する対策**

① 負担；データ入力であり、研究対象者の身体に生じる直接的な負担及び利益はないと考えられる

② リスク；特になし

③ 利益；特になし

④ リスクを最小化するためのデザインの工夫や有害事象への対策について記載：データ入力であり、研究対象者の身体に生じる直接的な負担は少ないと考えられる

**⑩ 試料・情報（研究に用いられる情報に係る資料を含む）の保管及び廃棄の方法**

**資料（情報）の取扱いについて（以下から選択）**

■資料（文書、数値データ、画像など）の保存期間は、原則として研究終了後 10 年間とする。（以下、必ず記載）

保管期間以降の情報の廃棄の方法；ファイルはコンピュータ上から確実に消去する。

上記以外（以下、必ず記載）

10 年間保管しない正当な理由；

**試料の取扱いについて（以下から選択）**

■本研究では試料を扱わない

試料を収集・研究利用する（以下選択の上、保管・廃棄の具体的な方法を必ず記載）

研究期間終了後も試料を保管する

その理由；

保管方法；

研究期間終了後は試料を保管しない

その理由；

試料の廃棄の方法（以下から選択）

匿名化した状態で密封容器に廃棄

<input type="checkbox"/> 匿名化した状態で焼却処分 <input type="checkbox"/> その他 ( )
<b>⑪ 研究機関の長への報告内容及び方法 (以下から選択)</b> <b>■定期報告</b> は年に1回以上、所定の様式で定期報告を行う <input type="checkbox"/> 上記以外の方法で定期報告を行う (以下、必ず記載) 具体的な方法；
<b>■中止・終了時</b> は速やかに所定の様式で中止・終了報告を行う <input type="checkbox"/> 上記以外の方法で終了報告を行う (以下、必ず記載) 具体的な方法；
<b>⑫ 研究の資金源等・利益相反 (以下から選択のうち、具体的な資金源について記載)</b> <input type="checkbox"/> 院内予算 ( ) <input type="checkbox"/> 共同研究経費 ( ) <input type="checkbox"/> 受託研究経費 ( ) <input type="checkbox"/> 寄附金 <input type="checkbox"/> 省庁等の公的研究費 (名称、研究番号 ) <input type="checkbox"/> 企業・団体等からの研究助成金 ( ) <b>■その他</b> (具体的に：特になし )
<b>利益相反 (以下から選択)</b> <b>■利益相反なし</b> <input type="checkbox"/> 利益相反あり (利益相反管理計画； )
<b>⑬ 研究に関する情報公開の方法 (以下から選択のうち、具体的な公表先について記載)</b> <input type="checkbox"/> 公開しない <b>■公開する</b> <input type="checkbox"/> 大学病院医療情報ネットワーク研究センター 臨床試験登録システム (UMIN) <input type="checkbox"/> 一般財団法人日本医薬情報センター iyaku Search (医薬品データベース) <input type="checkbox"/> 公益社団法人日本医師会 治験促進センター臨床試験登録システム (JMA CCT) <input type="checkbox"/> 国立保健医療科学院のホームページ <b>■学会発表</b> (多施設共同研究のため発表はされる予定だが、当院からは未定) <b>■論文へ投稿</b> (多施設共同研究のため投稿はされる予定だが、当院からは未定) <input type="checkbox"/> その他 ( )
<b>⑭ 相談への対応 (下記は必須)</b> <b>■研究全般に関する問合せ窓口 (担当者・所属・連絡先、連絡方法)</b> 診療部 (救急診療部) 主任部長 林 敏雅 <b>■プライバシーポリシーに関する問合せ窓口 (担当者・所属・連絡先、連絡方法)</b> 診療部 (救急診療部) 主任部長 林 敏雅
<b>⑮ 謝礼の有無と内容 (以下から選択)</b>

<p><input type="checkbox"/> 謝礼なし <input type="checkbox"/> 謝礼あり その内容：</p>
<p><b>⑱ 重篤な有害事象が発生した際の対応</b> <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり</p>
<p><b>⑳ 当該研究により生じた健康被害に対する補償の有無と内容</b> <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり</p> <p>研究計画書の変更（以下から選択） <input type="checkbox"/> 倫理審査委員会の審査を経て研究機関の長の承認を得る <input type="checkbox"/> 上記以外（以下、必ず記載） その理由と別の方法について具体的に記載；</p>
<p><b>㉑ 研究対象者への研究実施後における医療の提供に関する事項</b> <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり</p>
<p><b>㉒ 偶発所見の有無と対応（以下から選択のうえ、該当ありの場合開示方針について具体的に記載）</b> <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり（以下から選択） <input type="checkbox"/> 偶発的所見について開示する方針である（以下、必ず記載） その理由； 開示の方法； <input type="checkbox"/> 偶発的所見について開示はしない方針である（以下、必ず記載） その理由； <input type="checkbox"/> その他</p>
<p><b>㉓ 研究の一部を委託する（以下から選択のうえ、委託ありの場合、委託先の詳細と監督方法を記載）</b> <input type="checkbox"/> 委託しない <input type="checkbox"/> 委託する（以下、必ず記載） 委託先機関名・委託先代表者氏名・所在地； 試料・情報受け渡し時の匿名化の方法； 委託先の安全管理措置を含む監督方法；</p>
<p><b>㉔ 将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性（以下から選択）</b> <input type="checkbox"/> 将来の研究に用いる予定はない</p>

<p><b>■</b> (付随研究を含む) 将来の研究に用いる可能性あり</p> <p>研究の概括的な目的及び内容を；未定。登録されたデータは広島大学で匿名化された状態で、将来の研究に使用する可能性があるが、将来の研究に使用する場合は、広島大学の研究倫理審査会に再度提出する。</p>
<p>試料・情報の他機関（バンク等も含む）への提供（以下から選択）</p> <p><input type="checkbox"/> 提供しない</p> <p><b>■</b> 提供する</p> <p>提供先機関名・取得者氏名；多施設共同研究ため広島大学へ提供。</p> <p>広島大学 大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗</p> <p>提供をする試料・取得者氏名；多施設共同研究ため情報の項目；上記の匿名化された取得情報の提供</p> <p>提供する時期；研究期間中</p> <p>匿名化の方法；個人を特定化する情報は提供しない。</p> <p>提供に関する記録の保管期間；* 保管（3年）が義務、ただし提供先で保管する場合はその旨を記載</p> <p>提供先で匿名化された状態で保管される</p>
<p><b>㊸</b> モニタリング・監査</p> <p><b>■</b> 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> 該当あり</p>
<p>知財の取扱い（以下から選択）</p> <p><input type="checkbox"/> 本研究により得られた結果やデータ、知的財産権は当院に帰属する</p> <p><b>■</b> 上記以外（以下、必ず記載）</p> <p>具体的に；共同研究のため、匿名化されて利用されます。</p>
<p>参考文献</p>

2021 年 4 月 30 日

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 社会医療法人愛仁会千船病院に、COVID-19 で通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会千船病院救急診療部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

COVID-19 感染患者治療の疫学的調査

#### 2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会千船病院 救急診療部 主任部長 林 敏雅

#### 3. 研究の目的

2019 年 12 月、中華人民共和国の湖北省武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が報告された。このウイルスは新型コロナウイルスとして、COVID-19 と称されています。COVID-19 による感染は世界的に流行し、WHO では 2020 年 1 月 30 日に緊急事態宣言を行い、3 月 11 日にはパンデミックの宣言がおこなわれました。世界的には中国以外にも感染患者が拡大し、欧米諸国をはじめ、感染者の人数は日々数万人を超えるペースで増加しています。日本では 2020 年 1 月 16 日に初めて患者が報告され、2 月 1 日に指定感染症に指定されました。

この新規ウイルスによる感染症にはまだ確立された治療方法がなく、現在行われている治療は、これまでの他ウイルス疾患や肺炎などの治療の経験に基づくところが大きく、本感染の疫学的検討や治療方法に関するデータの集積・解析が、今後の COVID-19 感染症治療の確立には急務であります。そこで今回の研究の目的は、日本における COVID-19 感染症における臨床データ・治療内容を解析し、病態解明・治療法開発の一助とすること、また広島大学主導で全国の多施設でのデータを集め、日本独自の疫学的評価を行うことを目的としています。

#### 4. 研究実施予定期間 医学倫理審査委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日

#### 5. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

年齢は問わず、性別男女問わず、2020 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日の 6 年間に千船病院で検出された COVID-19 による感染患者を対象としています。

##### (2) 利用させて頂く情報

患者背景情報（年齢、性別、身長、体重、病名、現病歴、既往歴、併存症、内服歴、重症度など）、画像診断（X線写真、CT 検査、超音波検査など）、バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数など）、治療・管理で使用した薬剤、デバイス（気管挿管、透析など）、検査（動脈血ガス分析、一般血液、血液生化学、ウイルス、血液培養、各種細菌学的検査など）

##### (3) 方法

この研究への参加に同意いただきましたら、カルテより上記の情報を取得し使用します。採取し

た検体を用いて、病原毒性を客観的に評価・解析します。測定結果と取得した情報の関係性を分析します。

#### **6. 個人情報の取扱い**

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### **7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合**

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### **8. 問い合わせ先**

〒555-0034 大阪市西淀川区福町 3 丁目 2-39  
社会医療法人愛仁会千船病院 救急診療部 林 敏雅  
TEL : 06-6471-9541 FAX : 06-6474-0069